

マレーシア日本国際工科院—日本精工株式会社
共同研究ラボ開設

2023年11月27日、マレーシア日本国際工科院 (MJIT) は日本精工株式会社 (NSK) とトライボロジー精密加工講座 (TriPreM) の共同研究ラボである、NSK-TriPreM Research Laboratory の開設式を実施しました。MJITのTriPreMは、トライボロジー (摩擦・摩耗・潤滑) と精密加工 (研削・研磨) に関わる研究開発と、それらを通じた学生の教育を行っている研究室です。NSKは各種ベアリングや、自動車関連製品、精機製品などTriPreMの研究開発と関係が深い様々な製品の製造販売企業であることから、NSKとTriPreM間に繋がりが生まれました。

TriPreMとNSKはトライボロジー現象の基礎研究分野で2019年から共同研究を実施しており、将来的にNSKの製品に寄与する可能性も視野に入れて基礎研究を進めています。

NSKの研究主任者である杉田澄雄氏は、「メカニカルシステムの領域において、新しい価値を世にとどけられるようMJITとNSKが協力しあって研究活動を推進していきます。」と今後の展望が述べられました。TriPreMの講座長であり、本研究主任者である福田応夫教授は、「MJITで生まれたアイデアをNSKと形にしていければ、理想的な産学連携による研究から開発の流れを示すことができると思います。」と意気込みを語ります。

NSKはMJITの学生採用にも積極的で、これまでに4名の学生が採用され、神奈川県藤沢市にある同社の技術開発センターで活躍中の他、現在も修士学生が1名インターンシップ研修を実施中です。

共同研究ラボ開設式の翌日、11月28日には、MJITの日本語日本文化センターが杉田氏をスピーカーとしてお迎えしてキャリアトークを実施し、NSKへの就職や日本での就業に関心のある学生約30名が参加しました。4名のNSK社員先輩に続いて日本に羽ばたく学生が出てくることが期待されます。

JICAは、MJITの共同研究ラボやサテライトラボの設立、受託研究等による産学連携、MJIT卒業生の日本企業への就職を推進するべく、技術協力を行っています。

是非本共同研究ラボにつき貴紙で取り上げていただきたく、ご検討いただけますと幸いです。

【本件に関する問い合わせ先】

MJIT プロジェクト専門家 (担当: 浜田)
TEL: +60-111-765-0062
e-mail: hamada.emiko@utm.my